

平成 25 年版成果レポートについて

H 2 5 . 2 . 2 6

総 務 部

1. 平成 25 年版成果レポートについて

(1) 概要

平成 25 年版成果レポートについては、「みえ県民力ビジョン・行動計画」の初年度である平成 24 年度の取組について実績評価を行い、この評価結果を踏まえ、平成 25 年度の改善のポイントと取組方向、特に注力する項目を明らかにします。平成 25 年度目標値についても設定します。

また、新たに「選択・集中プログラム」の取組についても評価を行い、評価結果と平成 25 年度の取組方向等を明らかにするとともに、平成 25 年度目標値を設定します。

(2) 平成 25 年版成果レポート構成案（前年度対比 追加点：下線部）

	平成 24 年版 成果レポート	平成 25 年版 成果レポート
第 1 章 平成 24 年度の県政運 営と平成 25 年度の経 営方針	平成 23 年度を振り返って	(検討中)
	平成 23 年度的主要取組	
	平成 23 年度の取組の総括	
	平成 24 年度三重県経営方針	
	(参考) 幸福実感について	
第 2 章 施策の取組	政策体系一覧	政策体系一覧
	数値目標等一覧	数値目標達成状況一覧
	改善・注力一ロコメント	改善・注力一ロコメント
	各施策評価表	各施策評価表
第 3 章 選択・集中プログラム		<u>プログラム一覧</u>
		<u>数値目標達成状況一覧</u>
		<u>改善・注力一ロコメント</u>
		<u>各プロジェクト評価表</u>
第 4 章 行政運営の取組	行政運営の取組一覧	行政運営の取組一覧
	数値目標等一覧	数値目標達成状況一覧
	改善・注力一ロコメント	改善・注力一ロコメント
	各行政運営の取組評価表	各行政運営の取組評価表
(参考) 用語説明	用語説明	用語説明

(3) 第2章、第4章の「施策」、「行政運営の取組」の記載項目（前年度対比）

(追加点：下線部)

平成24年版 成果レポート	平成25年版 成果レポート
	<u>(県民の皆さんと) めざす姿</u>
平成27年度末での到達目標	平成27年度末での到達目標
	<u>評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由</u>
県民指標（目標値、現状値）	県民指標（目標値、 <u>実績値</u> ）
活動指標（目標値、現状値）	活動指標（目標値、 <u>実績値</u> ）
予算額等	予算額等、 <u>概算人件費、配置人員</u>
平成23年度の取組概要	平成24年度の取組概要
平成23年度の取組の検証（得られた成果、残された課題）	平成24年度の成果と残された課題（ <u>評価結果</u> ）
平成24年度の改善のポイントと取組方向	平成25年度の改善のポイントと取組方向
施策責任者からのコメント	特に注力するポイント（平成25年度）

(4) 第3章「選択・集中プログラム」の記載項目

平成24年版 成果レポート	平成25年版 成果レポート
	<u>プロジェクトの目標</u>
	<u>評価結果をふまえたプロジェクトの進展度と判断理由</u>
	<u>プロジェクトの数値目標（目標値、実績値）</u>
	<u>実践取組の目標（目標値、実績値）</u>
	<u>予算額等</u>
	<u>平成24年度の取組概要</u>
	<u>平成24年度の成果と残された課題（評価結果）</u>
	<u>新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議における主な意見（※）</u>
	<u>平成25年度の改善のポイントと取組方向</u>

(※) 新しい豊かさ協創プロジェクトのみ。

2. 今後の予定

- H25.4 春の政策協議（二役との協議
成果レポート案、組織マネジメントシート案）
- H25.5 政策会議（成果レポート（案）決定）
 《 成果レポート（案）県議会提示 》
- H25.7 成果レポート正本公表

■添付資料

- ・【別添】平成25年版成果レポート（できあがりイメージ）

【別 添】

平成 25 年版

成果レポート

～成果の検証と改善に向けた取組～

【できあがりイメージ】

平成 25 年 月
三 重 県

平成 25 年版「成果レポート」構成（案）

■ 知事あいさつ

■ 公表にあたって

- ・ 成果レポートとは
- ・ 平成 25 年度版「成果レポート」の特徴

■ 第 1 章

平成 24 年度の県政運営と平成 25 年度の経営方針
（検討中）

■ 第 2 章

（1）施策の取組

- ①政策体系一覧
- ②数値目標達成状況一覧
- ③改善・注力一ロコメント一覧
- ④施策評価表（56）

- ・ めざす姿
- ・ 27 年度末での到達目標
- ・ 進展度（A～D）
- ・ 数値目標
- ・ 予算額等、概算人件費等
- ・ 24 年度の取組概要
- ・ 24 年度の成果と課題
- ・ 25 年度の改善のポイントと取組方向
- ・ 特に注力するポイント

■ 第 3 章

（1）選択・集中プログラムの取組

- ①選択・集中プログラム一覧
- ②数値目標達成状況一覧
- ③改善・注力一ロコメント
- ③選択・集中プログラム評価表（16）

- ・ プロジェクト（プログラム）の目標
- ・ 進展度（A～D）
- ・ 数値目標
- ・ 予算額等
- ・ 24 年度の取組概要
- ・ 24 年度の成果と残された課題
- ・ 協創推進会議における意見
- ・ 25 年度の改善のポイントと取組方向

■ 第 4 章

（1）行政運営の取組

- ①行政運営の取組一覧
- ②数値目標達成状況一覧
- ③改善・注力一ロコメント一覧
- ③行政運営の取組評価表（8）

- ・ めざす姿
- ・ 27 年度末での到達目標
- ・ 進展度（A～D）
- ・ 数値目標
- ・ 予算額等、概算人件費等
- ・ 24 年度の取組概要
- ・ 24 年度の成果と課題
- ・ 25 年度の改善のポイントと取組方向
- ・ 特に注力するポイント

■ （参考）用語説明

平成24年度 施策数値目標達成状況一覧

施策		数値目標						
		目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	目標 達成 状況	進展度	県民 人 あたりコス ト(円)	
111	防災・減災対策の推進	県民指標	率先して防災活動に参加する県民の割合	43.0%	〇〇.〇%	1.00	A	〇〇〇〇
		活動指標	新地震対策行動計画(仮称)の進捗率			1.00		
			県・市町・防災関係機関等が連携して実施する防災訓練の回数	6回	〇回	1.00		
			自主防災組織の実践的な訓練実施率	29.0%	〇〇.〇%	1.00		
			県防災情報メール配信サービスの登録者数	40,000人	〇〇,〇〇〇人	1.00		
			災害拠点病院等の耐震化率	71.4%	〇〇.〇%	1.00		
			耐震基準を満たした住宅の割合	84.5%	〇〇.〇%	1.00		
			緊急輸送道路に指定されている県管理道路の改良率	91.2%	〇〇.〇%	1.00		
			消防設備等の充足率	83.3%	〇〇.〇%	1.00		
高圧ガス等施設における事故発生防止率	100.0%	〇〇〇%	1.00					
112	治山・治水・海岸保全の推進	県民指標	自然災害への対策が講じられている人家数	234,300戸				
		活動指標	河川整備延長	463.6km				
			土砂災害保全戸数	17,940戸				
			海岸整備延長	285.3km				
山地災害保全集落数	1,521集落							
113	食の安全・安心の確保	県民指標	食品検査における適合率	100%				
		活動指標	自主衛生管理(HACCP手法)導入取組施設数	157施設				
			高病原性鳥インフルエンザ等家畜伝染病のまん延防止率	100%				
114	感染症の予防と体制の整備	県民指標	感染症の集団発生事例数	0件				
		活動指標	感染症情報システムを活用している施設の割合	100.0%				
			感染症情報化コーディネーター数(累計)	130人				
			HIV抗体検査件数	1,025件				
121	医師確保と医療体制の整備	県民指標	人口10万人あたりの病院勤務医師数	120.0人 (23年度)				
		活動指標	県内の病院で後期臨床研修を受ける医師数	180人				
			県内看護師養成施設卒業者の県内就業者数	644人				
			救急医療情報システムに参加する時間外診療可能医療機関数	593機関				
			医療相談件数	761件				
			県立病院患者満足度	80.0%				
市町が運営する国民健康保険の財政健全化率	37.9% (23年度)							
122	がん対策の推進	県民指標	75歳未満の人口10万人あたりのがんによる死亡者数(年齢調整後)	74.5人 (23年)				
		活動指標	がん検診受診率(乳がん、子宮頸がん、大腸がん)	乳がん 25.1% 子宮頸がん 29.2% 大腸がん 24.2% (23年度)				
			がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修修了者数	681人				
123	こころと身体の健康対策の推進	県民指標	健康寿命	男77.4歳 女80.7歳 (23年)				
		活動指標	8020運動推進員数	249人				
			自殺対策に係るネットワーク組織を設置している地域数	7地域				
			特定健康診査受診率	43.2% (23年度)				
131	犯罪に強いまちづくり	県民指標	刑法犯認知件数	21,900件以下				
		活動指標	街頭犯罪等の認知件数	3,200件以下				
			凶悪犯の検挙率	80.0%				
			主な侵入犯罪の検挙人員	210人				
			暴力団検挙人員	280人				
			犯罪被害者等支援の理解者数	3,500人				
交番・駐在所施設の充実度	40.0%							
132	交通安全のまちづくり	県民指標	交通事故死者数	90人以下				
		活動指標	交通事故死傷者数	13,300人以下				
			信号機の整備箇所数(累計)	3,160か所				
			シートベルトの着用率	96.5%				
133	消費生活の安全の確保	県民指標	消費生活情報を県民が利用している件数	54,500件				
		活動指標	消費生活講座が役に立つと回答した受講者の割合	97.6%				
			消費生活相談の解決につながる助言を行った割合	97.3%				
134	薬物乱用防止等と医薬品の安全確保	県民指標	薬物乱用防止講習会の参加者数(累計)	245,200人				
		活動指標	薬物乱用防止事業の協力者数	2,981人				
			医薬品等の検査件数に対する不適合医薬品等の割合	0%				
			生活衛生営業施設における健康被害発生件数	0件				
			犬・猫の引取り数	3,351頭				

【主担当部局：防災対策部】

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さんや県、市町および防災関係機関などのさまざまな主体が、自然災害の厳しさを共有し、防災・減災に向けてそれぞれの役割を果たすとともに、「協創」の取組が進み、災害に強い社会が形成されています。

平成 27 年度末での到達目標

東日本大震災で明らかとなった課題や問題点をふまえた防災計画が策定されるとともに、「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が行われ、災害を最小限に抑える体制づくりが進んでいます。また、防災教育が充実し、人材が育成され、県民の皆さんの自主的な防災活動が進み、地域の災害対応力が強化されています。

評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	全ての指標で 24 年度目標値を達成しており、県内各地で「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が進んでいることから「ある程度進んだ」と判断しました。
----------	----------------	------	-------------------------------------------------------------------------------

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

県民指標

目標項目	23 年度 現状値	24 年度 目標値 実績値	25 年度 目標値 実績値	26 年度 目標値 実績値	27 年度 目標値 実績値	目標達成状況
率先して防災活動に参加する県民の割合	—	43.0%	〇〇%	—	50.0%	1.00
	39.5%	〇〇%	—	—	—	

目標項目の説明と平成 25 年度目標値の考え方

目標項目の説明	過去 1 年間に地域・職場での防災活動に参加したことがある県民の割合(防災企画・地域支援課調べ)
25 年度目標値の考え方	平成 24 年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成 25 年度においては、当初の計画通り、毎年平均3%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

活動指標

基本事業	目標項目	24 年度 目標値	24 年度 実績値	25 年度 目標値	目標達成 状況
11101 新たな防災・減災対策の計画的な推進(防災対策部)	新地震対策行動計画(仮称)の進捗率			〇〇%	1.00
11102 災害対応力の充実・強化(防災対策部)	県・市町・防災関係機関等が連携して実施する防災訓練の回数	6 回	〇回	〇回	1.00
11103 「協創」による地域防災力の向上(防災対策部)	自主防災組織の実践的な訓練実施率	29.0%	〇〇%	〇〇%	1.00
11104 迅速な対応に向けた防災情報の共有化(防災対策部)	県防災情報メール配信サービスの登録者数	40,000 人	〇〇〇〇 人	〇〇〇〇 人	1.00

基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	目標達成 状況
11105 災害医療体制の整備（健康福祉部）	災害拠点病院等の耐震化率	71.4%	〇〇%	〇〇%	1.00
11106 安全な建築物の確保（県土整備部）	耐震基準を満たした住宅の割合	84.5%	〇〇%	〇〇%	1.00
11107 緊急輸送ルートの整備（県土整備部）	緊急輸送道路に指定されている県管理道路の改良率	91.2%	〇〇%	〇〇%	1.00
11108 消防力向上への支援（防災対策部）	消防設備等の充足率	83.3%	〇〇%	〇〇%	1.00
11109 高圧ガス等の保安の確保（防災対策部）	高圧ガス等施設における事故発生防止率	100%	〇〇%	〇〇%	1.00

（単位：百万円）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等					
概算人件費 （配置人員）					

平成 24 年度 of 取組概要

- ・平成 24 年度の取組結果（県の活動結果）の概要を、「箇条書き」かつ「体言止め」で記載
- ・MS明朝 11pt。行間 1 行。
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および 次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路（〇〇路線）の改良

平成 24 年度の成果と残された課題（評価結果）

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※全ての基本事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民力ビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載
- ・MS明朝 11pt。行間 1 行。

平成 25 年度の改善のポイントと取組方向

- ・上記、24 年度の成果や残された課題を踏まえた 25 年度 of 取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民力ビジョン・行動計画」での「変革の視点」も踏まえて記述。
- 例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。 方、■■については課題となっていることから〇〇等の対策を進めます。
- ・MS明朝 11pt。行間 1 行。

特に注力するポイント(平成 25 年度)【防災対策部 次長 ○○ ○○ 電話:059 224 1111】

施策を所管する担当次長(副部長)として、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえて 25 年度に特に注力するポイントについて記載する。

・MS明朝11pt。行間1行。

【主担当部局：防災対策部】

プロジェクトの目標

県民の皆さんの命を守ることを最優先として緊急かつ集中的に取り組むべき対策を定めた「三重県緊急地震対策行動計画」や新たに策定する「三重県新地震対策行動計画（仮称）」、災害に強い地域づくりをめざす「三重風水害等対策アクションプログラム」等の計画に基づく取組を確実に進めていきます。また、市町をはじめ関係機関との連携を充実させ、「備えるとともに、まず逃げる」ための対策や防災教育の推進、避難する人材の育成、自然災害に備える基盤施設の整備等に重点的に取り組む。「みえ県民力ビジョン・行動計画」（以下、「行動計画」という。）の同名欄から転記

評価結果を踏まえたプロジェクトの進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	全ての指標等で 24 年度目標値を達成しており、県内各地で「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が進んでいることから概ね順調と判断しました。
----------	----------------	------	---------------------------------------------------------------------------

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

プロジェクトの数値目標

目標項目	23 年度 現状値	24 年度 目標値 実績値	25 年度 目標値 実績値	26 年度 目標値 実績値	27 年度 目標値 実績値	目標達成状況
緊急減災に向けた行動項目（アクション）の進捗率	—	43.0%	〇〇%	—	50.0%	1.00
	39.5%	〇〇%	—	—	—	

目標項目の説明と平成 25 年度目標値の考え方

目標項目の説明	県関係部局が減災に向けて緊急に取り組む行動項目（アクション）の進捗率の平均値
25 年度目標値の考え方	平成 24 年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成 25 年度においては、当初の計画通り、毎年平均〇%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

実践取組の目標

実践取組	年次計画のうち主なもの	24 年度 目標値	24 年度 実績値	25 年度 目標値	目標達成 状況
1 「逃げる」ための課題解決について	新地震対策行動計画（仮称）の進捗率				
	防災講演会、研修会等への参加促進				
2 地震による建物被害軽減に向けた課題を解決するために	耐震基準を満たした住宅の割合				

(単位：百万円)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等				

平成 24 年度 of 取組概要

- ・平成 24 年度 of 取組結果 (県の活動結果) の概要を、「箇条書き」かつ「体言止め」で記載
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および 次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路 (〇〇路線) の改良

平成 24 年度 of 成果と残された課題 (評価結果)

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※ 全ての実践取組について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

平成 25 年度 of 改善のポイントと取組方向

- ・上記、24 年度 of 成果や残された課題を踏まえた 25 年度 of 取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民カビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。
- ※ 経営方針や春・秋の政策協議での議論も踏まえて、25 年度に注力する取組を中心に記述。
- 例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。なお、■■が課題となっていることから、あらたに〇〇等の対策を進めます。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

【主担当部局：教育委員会】

プロジェクトの目標

子どもたちが、自らの夢の実現をめざし、主体的に学び、自信と意欲、高い志を持って輝く未来を切り拓いていく力とともに、他者との関わりの中で、共に支え合い、新しい社会を創造していく力を身につけています。

この実現に向け、4年後には、学校・家庭・地域が一体となって、県民総参加で子どもたちの学力向上を支援する取組が進められ、各学校では、教職員の授業力の向上などにより継続的な授業改善が行われ、「みえ県民力ビジョン・行動計画」（以下、「行動計画」という。）の同名欄から転記

評価結果を踏まえたプロジェクトの進展度と判断理由

進展度 *	A (進んだ)	判断理由	全ての指標等で24年度目標値を達成しており、県内各地で子どもの学力向上に向けて、学校、家庭、地域が連携した多くの取組が始まっていることから、進んだと判断しました。
----------	------------	------	-----------------------------------------------------------------------------------

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

プロジェクトの数値目標

目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	26年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値	目標達成状況
授業内容を理解している子どもたちの割合	—	82.0%	83.0%	—	85.0%	〇〇.〇
	81.2%	82.5%	—	—	—	

目標項目の説明と平成25年度目標値の考え方

目標項目の説明	県内の公立小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生で学校の授業内容が「よくわかる」「だいたいわかる」と回答した子どもたちの割合
25年度目標値の考え方	平成24年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成25年度においては、当初の計画通り、毎年平均〇%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

実践取組の目標

実践取組	年次計画のうち主なもの	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	目標達成 状況
1 「県民総参加による学力の向上」に挑戦します	子どもたちの学力や学習・生活の状況を客観的に把握し、教育指導の改善に生かしている公立小中学校の割合	70.0%	71.0%	〇〇%	〇.〇〇
2 「地域に開かれた学校づくり」に挑戦します	地域住民等による学校支援に取り組んでいる市町数	8市町	8市町	〇市町	〇.〇〇
3 「教職員の授業力向上」に挑戦します	研修内容を「自らの実践に活用できる」とする教職員の割合	91.0%	92.0%	〇〇%	〇.〇〇
4 「安心して学べる環境づくり」に挑戦します	1,000人あたりの不登校児童生徒数	11.4人	11.4人	〇〇人	〇.〇〇

(単位：百万円)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等				

平成 24 年度の取組概要

- ・平成 24 年度の取組内容（県の取組（活動）結果）を、箇条書きで記載
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および 次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路（〇〇路線）の改良

平成 24 年度の成果と残された課題（評価結果）

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※ 全ての構成事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民力ビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。（MS 明朝 11pt。行間 1 行）
- ※ 「協創」を象徴する取組であり、その進展度を評価する観点から、以下の視点を踏まえて 24 年度の取組成果と残った課題を記載する。
- 【記載にあたっての 3 つの視点（「みえ県民力ビジョン」の県政運営の基本姿勢より）】
- 「県民力養成支援」：県民一人ひとりが自らの意欲と能力に応じて、積極的に社会に参画することができるよう、自立し行動する県民となるための支援を行います
- 「県民力拡大支援」：県民の皆さんがさまざまなつながり、絆のもとに、社会で活動することが広がるよう、仲間と一緒に社会をよくする取組への支援を行います
- 「県民力発揮支援」：県民の皆さんが主体として活躍できる場が増えるよう、これまで県が主導してきた場を開放していくなど、県の事業のあり方を見直します

新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議における主な意見

- ・プロジェクト毎の新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議の各委員からいただいた意見のうち、主な内容について記述する。

平成 25 年度の改善のポイントと取組方向

- ・上記、「24 年度の成果や残された課題」「新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議における主な意見」を踏まえた 25 年度の実行計画を記載。
- ※ 「みえ県民力ビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。
- ※ 経営方針や春・秋の政策協議での議論も踏まえて、25 年度に注力する取組を中心に記述。
- 例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。なお、■が課題となっていることから、あらたに〇〇等の対策を進めます。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

プログラム目標

南部地域において、あらゆる世代の人びとが生まれ育った地域に住み続けたいという思いがかなうように、若者の働く場が確保され、安心して住み続けることのできる地域社会が形成されています。めざす姿の実現に向け、市町と連携して若者の雇用の確保や定住の促進などの取組を進める。「みえ県民力ビジョン・行動計画」（以下、「行動計画」という。）の同名欄から転記

評価結果を踏まえたプログラムの進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	全ての指標等で 24 年度目標値を達成しており、県内各地で「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が進んでいることから概ね順調と判断しました。
----------	----------------	------	---------------------------------------------------------------------------

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

プログラムの数値目標

目標項目	23 年度 現状値	24 年度 目標値 実績値	25 年度 目標値 実績値	26 年度 目標値 実績値	27 年度 目標値 実績値	目標達成状況
若者の定住率	—	43.0%	〇〇%	—	50.0%	1.00
	39.5%	〇〇%	—	—	—	

目標項目の説明と平成 25 年度目標値の考え方

目標項目の説明	南部地域の市町における 25 歳～34 歳人口を 20 年前の 5 歳～14 歳人口で除した値
25 年度目標値の考え方	平成 24 年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成 25 年度においては、当初の計画通り、毎年平均〇%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

実践取組の目標

実践取組	年次計画のうち主なもの	24 年度 目標値	24 年度 実績値	25 年度 目標値	目標達成 状況
1 「逃げる」ための課題解決について	新地震対策行動計画（仮称）の進捗率				
	防災講演会、研修会等への参加促進				
2 地震による建物被害軽減に向けた課題を解決するために	耐震基準を満たした住宅の割合				

(単位：百万円)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等				

平成 24 年度の取組概要

- ・平成 24 年度の取組結果（県の活動結果）の概要を、「箇条書き」かつ「体言止め」で記載
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および 次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路（〇〇路線）の改良

平成 24 年度の成果と残された課題（評価結果）

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※ 全ての実践取組について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

平成 25 年度の改善のポイントと取組方向

- ・上記、24 年度の成果や残された課題を踏まえた 25 年度を取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民カビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。
- ※ 経営方針や春・秋の政策協議での議論も踏まえて、25 年度に注力する取組を中心に記述。
- 例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。なお、■が課題となっていることから、あらたに〇〇等の対策を進めます。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

【主担当部局：戦略企画部】

めざす姿

「みえ県民カビジョン」に基づく政策が進むとともに、県民の皆さんとの「協創」の取組が広がることで、成果が県民の皆さんに届き、幸福実感が高まっています。

平成 27 年度末での到達目標

「選択・集中プログラム」をはじめ、「行動計画」に基づく施策、事業に取り組むことにより、県政の課題解決が進み、県民の皆さんが取組の成果を感じ始めています。

評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

県民指標

目標項目	23 年度 現状値	24 年度 目標値 実績値	25 年度 目標値 実績値	26 年度 目標値 実績値	27 年度 目標値 実績値	目標達成状況
各施策の「県民指標」の達成割合	—	70.0%	〇〇%	—	70.0%	1.00
	—	〇〇%	—	—	—	

目標項目の説明と平成 25 年度目標値の考え方

目標項目の説明	「県民指標」の目標値を達成した施策が全施策に占める割合
25 年度目標値の考え方	

活動指標

基本事業	目標項目	24 年度 目標値	24 年度 実績値	25 年度 目標値	目標達成 状況
40101 「みえ県民カビジョン」の進行管理（戦略企画部）	各施策の「県の活動指標」の達成割合			〇〇%	1.00
	「選択・集中プログラム」の数値目標の達成割合				
40102 広域連携の推進（戦略企画部）	新たに実施する広域連携事業の数（累計）	6回	〇回	〇回	1.00
40103 高等教育機関との連携の推進（戦略企画部）	学生と地域のさまざまな主体との交流フォーラムの開催回数	29.0%	〇〇%	〇〇%	1.00

(単位：百万円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等					
概算人件費					
(配置人員)					

平成 24 年度 of 取組概要

- ・平成 24 年度 of 取組結果 (県の活動結果) の概要を、「箇条書き」かつ「体言止め」で記載
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および 次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路 (〇〇路線) の改良

平成 24 年度 of 成果と残された課題 (評価結果)

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※全ての基本事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

平成 25 年度 of 改善のポイントと取組方向

- ・上記、24 年度 of 成果や残された課題を踏まえた 25 年度 of 取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民カビジョン・行動計画」での「変革の視点」も踏まえて記述。
- 例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。 方、■ ■については課題となっていることから〇〇等の対策を進めます。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

特に注力するポイント (平成 25 年度) 【防災対策部 次長 〇〇 〇〇 電話:059 224 1111】

- 施策を所管する担当次長 (副部長) として、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえて 25 年度に特に注力するポイントについて記載する。
- ・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

三重県から日本を元気に！！

「幸福実感日本一の三重」の実現をめざします！

三重県では、平成 24 年度からのおおむね 10 年先を見据え、新しい三重づくりに必要な考えや目標を掲げた「みえ県民カビジョン」を策定しました。

自分にできることを私たち一人ひとりが実践すれば、それが新しい三重をつくる力になります。

そのために必要なこととして「みえ県民カビジョン」では、私たち一人ひとりが「アクティブ・シチズン」として、さまざまな主体と「協創」することを提案しています。

「アクティブ・シチズン」って何？
アクティブ・シチズンとは「自ら行動する県民」をあらわす言葉です。

「協創」って何？
いろいろな立場の人が力を合わせて新しいものを生み出すことをあらわす言葉です。

「みえ県民カビジョン」の詳細は、県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/VISION/index.htm>

平成 25 年版成果レポート

～成果の検証と改善に向けた取組～

平成 25 年 月
三 重 県

〒514 8570 津市広明町 13 番地

TEL : 059 224 2119

FAX : 059 224 2125



—— 三重県観光キャンペーン ——
2013.4～2016.3